

News Letter



三菱UFJ国際財団ニュースレター第6号を皆さまにお届けいたします
事業活動やトピックスなど三菱UFJ国際財団の様々なニュース、活動報告をまとめました。
当財団ではニュースレターを定期的に発行し、財団HPに掲載いたしますので、是非ご覧ください。



国際交流助成

2026年度公募助成金／助成団体決定

当財団では国際理解と国際交流の推進に繋がる活動・事業に対し1982年より活動資金の助成を実施しております。

- 2026年度は2026年7月1日から2027年6月30日までの期間に行われる国際理解・国際交流の推進につながる活動・事業に対して助成金を支給することとして、2025年12月から2026年1月の期間、一般公募によって助成金を希望するグループ、団体を募集しました。
- 応募頂いたグループ、団体を専門委員会において審査の結果、2026年度、理事会において次の一般団体20団体、学生団体22団体、合計42団体の国際交流活動に対する助成金の支給を決定しました。



一般団体 20団体

- ・一般社団法人 国際ソーシャルワーク協会
- ・アジアデザインアート展覧会コンソーシアム
- ・名古屋産業大学環境経営研究所
- ・一般社団法人 おきなわ国際協カプラットフォーム
- ・第18回東アジア5大学建築都市学術セミナー実行委員会
- ・合同会社 つながるアグリ
- ・Young Architects Conference 実行委員会
- ・NPO法人 BrotherHood
- ・The Band Lab Japan
- ・公益財団法人 教育支援グローバル基金
- ・一般社団法人 Reaching Zero-Dose Children

南アジアのソーシャルワーカーとの交流事業
失われたクメール美術教育復活プロジェクト
ゼロカーボンスクール普及プロジェクト
次世代のおきなわ国際人材育成プロジェクト
東アジア5大学建築都市学術交流セミナー
日台青年次世代リーダー育成プロジェクト
日独の若手建築家による国際交流inケルン
第2回日比リーダー育成交流プロジェクト
サラワク国際音楽フェスティバル2026
米国サマープログラム2026
ゼロドース児に関する国際ユースフォーラム



国際交流助成

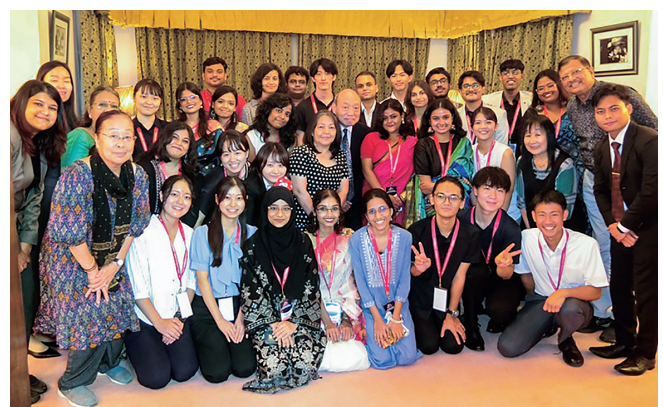
- ・ 特定非営利活動法人 種のアトリエ
- ・ 日独ユースネットワーク
- ・ Solidarity With You
- ・ NPO法人 熊本YWCA
- ・ 特定非営利活動法人 Colorbath
- ・ 一般社団法人 日本若者協議会
- ・ 筑波大学探求型国際交流プログラム推進委員会
- ・ 認定NPO法人 聖地のこどもを支える会
- ・ G7 / G20 Youth Japan

- ・ ネパールの村と都市を繋ぐ演劇祭創造事業
- ・ Hallo Japan 2026
- ・ アジアの若者たちによる平和共創事業
- ・ 日韓ユース交流ラボ
- ・ 日本とマラウイを繋ぐ課題解決型プログラム
- ・ 若者団体の国際的な連携促進に関する事業
- ・ 令和8年度日韓青少年対話型交流事業
- ・ イスラエル・パレスチナ平和の架け橋事業
- ・ Y20サミット日本代表団派遣事業

学生団体 22団体

- ・ 日本理学療法学生協会国際部
- ・ 第42回日韓学生フォーラム
- ・ 日本ルワンダ学生会議
- ・ 一般財団法人 国際教育振興会
- ・ MPJ Youth
- ・ IDFC 日本側実行委員会
- ・ 一般社団法人グローバル・ネクストリーダーズフォーラム
- ・ 日韓学生シンポジウム実行委員会
- ・ 日仏学生フォーラム
- ・ 日本インド学生会議
- ・ 日英学生会議
- ・ AFPLA 東京大学支部
- ・ 特定非営利活動法人 MIS タイミャンマー国境チーム
- ・ 東京大学 Diligent GHY Japan
- ・ 模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業運営局
- ・ 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議
- ・ JKSF
- ・ 慶應義塾大学医学部国際医学研究会
- ・ 第41回日韓学生会議
- ・ ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～
- ・ 国際学生会議
- ・ 日本国際法学生協会 (JILSA)

- ・ 日仏理学療法学生交流
- ・ 第42回日韓学生フォーラム
- ・ 第23回本会議 in ルワンダ
- ・ 第78回日米学生会議
- ・ 2026年度MPJ Youth アフリカ研修
- ・ IDFC2026日本ミャンマー学生会議
- ・ GNLF2026本会議東京大会
- ・ 第25回日韓学生シンポジウム
- ・ 日仏学生フォーラム渡仏プログラム
- ・ 第30期日本インド学生会議
- ・ 日英学生会議
- ・ AFPLA 第19回本大会
- ・ 学校別プロジェクトの拡充
- ・ 次世代グローバルヘルス人材育成国際事業
- ・ 模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業
- ・ 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議
- ・ 日本韓国学生未来会議
- ・ 南米地域での医療体験及び日伯医学生会議
- ・ 第41回日韓学生会議夏季東京大会
- ・ ラオスにおける小学生との交流活動
- ・ 第72回国際学生会議
- ・ ジェサップ国際法模擬裁判国内予選大会



- 尚、当財団では昨年より助成団体の概要と活動内容を財団HPで紹介しています。今年度も助成対象の活動・事業の終了後、団体や活動の内容を財団HPに掲載し、その成果を広く発信する予定です。
- 来年度の公募助成金は、2026年11月下旬頃、財団HPで詳細を掲載する予定です。



人材育成

2025年度

当財団では将来を担う若い世代の学業の支援、そして人材育成の支援を以て国際理解と国際交流の推進に貢献することを目指し、アジアの大学生、大学院生を対象に

- ・海外育英奨学金
- ・国内留学生奨学金
- ・海外留学生招聘

の3事業を行っております。

2025年度の実施状況です。

- 海外育英奨学金はアジア13カ国、31大学で学ぶ240名の大学生・大学院生に奨学金を支給しました。1984年に事業開始以来、累計で17,994名の学生を支援しております。過去の奨学生は、現在それぞれの国の発展を担う人材として各分野で活躍しています。
- 2026年1月にタイ・チェンマイ大学、ラオス国立大学、2026年2月にカンボジア（王立プノンペン大学、王立法律経済大学）、ベトナム（ベトナム国家大学ホーチミン校、ホーチミン経済大学、ホーチミン医科薬科大学、ホーチミン教育大学）で奨学金授与式を開催、理事長より学生ひとりひとりに奨学金を手渡しました。



チェンマイ大学



ラオス国立大学



ホーチミン教育大学



王立プノンペン大学

〈国別奨学金支給実績 2025年まで〉

国名	タイ	インドネシア	フィリピン	中国	ベトナム	インド	ミャンマー	カンボジア
開始年	1984	1984	1990	1992	1995	1996	1996	2006
対象大学	3	2	1	6	6	3	2	2
2025年度奨学生	25	13	10	55	32	14	30	9
奨学生累計	1,691	1,801	367	7,006	3,432	1,149	670	579

国名	バングラデシュ	パキスタン	モンゴル	ラオス	スリランカ	その他	合計
開始年	2013	2014	2015	2015	2017		
対象大学	1	2	1	1	1		31
2025年度奨学生	24	8	6	7	7	0	240
奨学生累計	384	213	146	237	148	171	17,994



人材育成

- 国内留学生奨学金は日本国内の大学・大学院*に在学するアジア諸国からの留学生12名（大学生4名・大学院生8名）を対象に奨学金を支給しました。

*大学は指定校制

大学院生：東京大学・一橋大学・慶應義塾大学・早稲田大学

大学生：立命館アジア太平洋大学

2025年8月に交流イベントとして、大阪・関西万博見学（全奨学生対象）、大学院生を対象に、2025年11月に国連大学ツアーと国連大学生との交流会、同12月に人形浄瑠璃・文楽観劇、2026年3月に仙台・震災遺構視察、大学生対象に、2025年11月大相撲九州場所見学を実施しました。

- 海外留学生招聘は2025年9月、ベトナム、カンボジアよりそれぞれ1名の学生が来日、名古屋の南山大学に入学し、9カ月間、日本語を集中的に学習し、日本の社会と文化などについて理解を深めていただきました。2025年11月に京都、2026年1月に岐阜県・飛騨高山、3月に東京への研修旅行を実施しました。2026年5月21日、2名の学生は南山大学を無事卒業、母国へ帰国しました。



2026年度

- 海外奨学金はアジア13カ国、31大学で学ぶ240名の大学生・大学院生に奨学金の支給を予定しており、また、バングラデシュ、パキスタン、ミャンマー、ベトナム（ハノイ）等より2～3カ国で奨学生への奨学金授与式を予定しております。一人当たり奨学金支給額は現地の経済発展、インフレ状況を考慮し、調整を行います。
- 国内留学生奨学金は日本国内の大学・大学院に在学するアジア諸国からの留学生12名（大学生4名・大学院生8名）を対象に奨学金を支給する予定です。書類選考、面接を行い、2026年6月8日、今年度の奨学生を決定いたしました。

今後、2026年7月13日に大学院生を対象とした奨学金授与式（東京）、7月17日に大学生を対象とした奨学金授与式（大分県別府市）をそれぞれ開催する予定です。留学生同士の交流イベント、日本の伝統文化の紹介イベント、OB・OGとのキャリア交流イベント等を計画しております。

- 海外留学生招聘はカンボジア、ベトナムよりそれぞれ1名の学生を招聘する予定です。2026年9月、名古屋の南山大学に入学し、2027年5月までの9カ月間、日本語を集中的に学習し、日本の社会と文化などについて理解を深めて頂く予定です。こちらも週末を利用した交流イベントを計画しております。

公益財団法人 三菱UFJ国際財団

〒105-0014 東京都港区芝2丁目4-3
TEL：050-3649-8859 Fax：03-5232-0310
E-mail：tokyo_honbu@mitsubishi-ufj-foundation.jp

<http://www.mitsubishi-ufj-foundation.jp/> ▶

【発行日】2026年7月1日 【発行責任者】池田拓生

